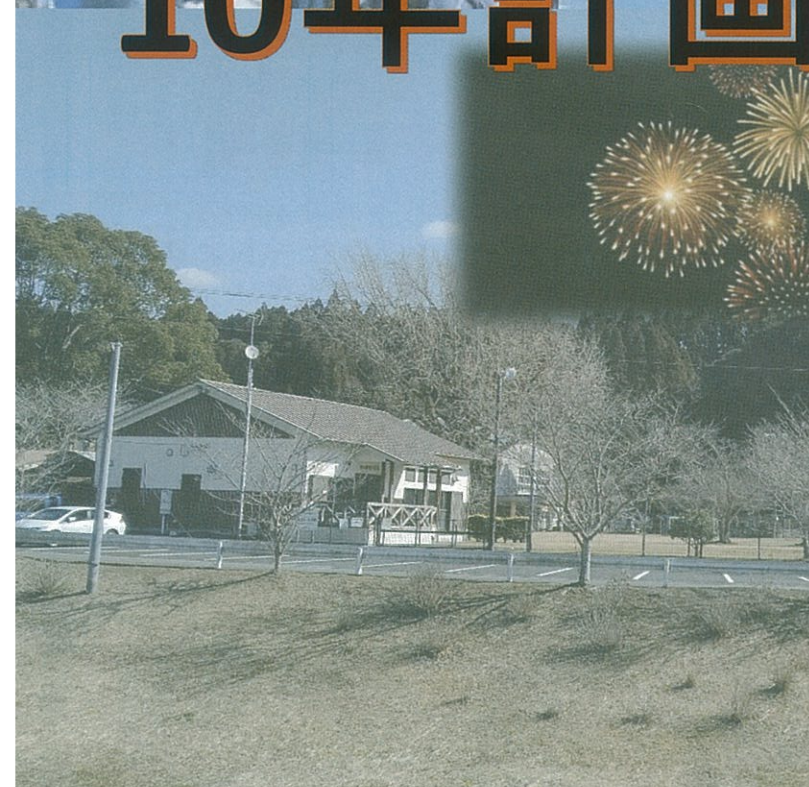




大丸地区 未来づくり 10年計画

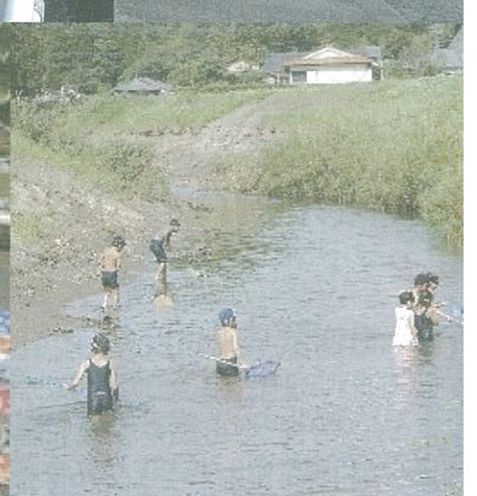
花火が結ぶ

地域の絆



南九州市

大丸地区公民館



はじめに

私たちの住んでいる大丸地区は、自然が豊かで、自治会活動も活発、仕事や家族の他にも多くの学びや情報共有の機会がある地区だと自負しています。

しかしながら、今後、私たちの子どもや孫がこれまでどおり、「自治会活動等での地域との交わりや主体性をもった活動が続けていける地区であり続けられるか？」と問われると、10年後20年後も継続しているとは言い切れません。今のままではです。

そこで、令和3年度から令和4年度にかけて、「大丸未来づくり委員会」を創設して、10年後も大丸地区を魅力ある地区として、残していくためにはどうしたらいいかというテーマで議論を重ね、この度、「大丸地区未来づくり10年計画」を作成しました。

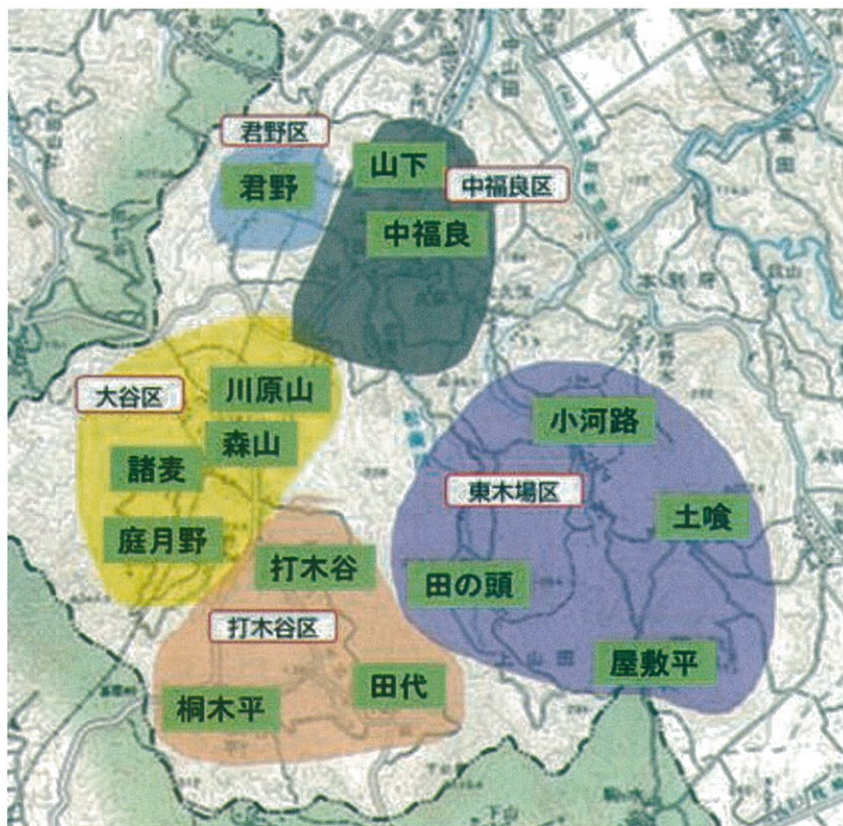
この計画は、地域の皆様からいただいたアンケート調査や自治会での課題、将来の人口推移等を参考にしながら、なるべく無理なく実行できるようなものになっています。

まず一番大切な事は、これまでの自治会単位の活動から地区公民館単位の活動へと意識の変革ができるかどうかです。〇〇自治会を中心で考えるのではなく、大丸地区住民として考え、行動するというような感覚が必要だと思っています。

この10年計画を基に、大丸地区で育っていく子どもや孫たちの将来のために、今この計画を読んでいる貴方たち一人一人が知恵をだし合い、みんなで共有し、できることから行動して、それを繋げていければ・・・！

私たちの生まれ育った、あるいは生活の拠点である大丸地区と一緒に盛り上げていきましょう！

代表 森田 清博



大丸地区各自治会の状況
(令和4年12月末)

自治会名	人口	高齢化率
①君野	52人	52%
②山下	49人	57%
③中福良	185人	39%
④川原山	20人	55%
⑤森山	23人	78%
⑥諸麦	31人	39%
⑦庭月野	41人	71%
⑧打木谷	23人	70%
⑨桐木平	51人	53%
⑩田代	22人	86%
⑪小河路	31人	74%
⑫田の頭	12人	67%
⑬土喰	7人	86%
⑭屋敷平	6人	67%

集う

全ての住民のために

①地区公民館に集う(講座)

- ・自治会集会所のない地域は地区公民館を活用する
- ・地区公民館から遠い地域の人々の送迎のしくみをつくる

②自治会と地区公民館の連携

- ・活動が困難になった自治会活動を地区公民館が補完できるしくみをつくる
- ・自治会や区の統廃合が必要になれば、地区公民館が支援する

③自治会に集う(サロン)

- ・自治会集会所を活用して集いの場をつくる
- ・自治会でのサロン活動を、地区公民館がサポートする

④スポーツで交流

- ・グラウンド・ゴルフ等の練習や大会で楽しい交流の場をつくる

見守る

安心・安全のために

⑤日々の見守り活動

- ・隣近所での日々の見守りグループを立ち上げる

⑥防災マップの活用

- ・地域ごとに防災マップの情報を共有する

⑦避難計画に基づく防災訓練の実施

- ・地震や水害時の避難誘導計画に基づき、訓練を定期で行う
- ・自治会と地区公民館が連携した防災対策を行う

交わる

楽しい居場所づくりのために

⑧学校や公民館を拠点に

- ・学校開放事業の可能性を探る
- ・地区公民館と小学校の協働活動を促進する

⑨憩いの場づくり

- ・地区内の名所を活用して住民の居場所を増やしていく
小丸の里・大谷川・青木牧場・大丸公園

⑩歴史と伝統文化を守る

- ・上山田太鼓踊りの継承
- ・史跡を活かした活動(天然橋・善積寺跡・君野権現洞穴等)

⑪移動手段の確保

- ・地区内移動システムを検討する

⑫地区外・市外の人々との交流を進める

- ・大丸未来祭り(親族・出身者・関係人口等)



だれが始める
何から始める

まずは
地域(自治会・区)
単位で
スポーツ交流を
盛んにし
サロン活動へと
広げていく



アンケートよりでは
⑤は住民が
最も期待している
項目です
民生委員・児童委員と
自治会が
連携・協力して
実現していきましょう



交わる場所は
・体育館
・校庭
・大丸公園
・各史跡 など
多くの世代が
交われる企画を
地区公民館を
中心に
工夫していこう

送迎手段も
検討してネ!

みんなが主役の 大丸未来祭り

テーマ：食・遊・創
場 所：大丸小学校
大丸地区公民館

【第1部】

まずは、スポーツで交流しよう

- ・子どもから高齢者まで(送迎の工夫)
- ・職域でも参加
- ・出身者も戻ってきて



出身者にも呼びかけよう
情報を積極的に発信しよう

【第2部】

つぎは、遊んで 食べて交流しよう

【住民は..】

皆でアイデアを出し合い
役割を担うことで
絆が深まり
楽しい地域づくりができる



【参加者は..】

美味しく楽しい活動に
みんなで参加することで
大丸の良さを
感じ取ってもらおう

地域ブース(自治会・区)

- ・地域で協力して運営する
- ・地域の特色を活かした内容を企画する
- ・販売や体験, ゲームなど
(例) 野菜販売・わら細工・竹細工・
メダカすくい・加工品販売

地区コーナー(地区有志)

- ・地区内の有志で運営する
- ・地域と重ならない内容で
- ・学校施設や自然環境を活かして
- ・若者にも任せる(中高校生)
(例) 釣り堀・輪投げ・VR体験
チキンレース・スマートボール
くじ引き・漬物・ガネ・コーヒー

大丸そば

- ・自作のそばの実
- ・そば粉と麺
- ・そばメニュー多数

キッチンカー

- ・食はプロに任せる

【第3部】

さいごは、光の思い出づくり

- ・イルミネーション点灯
- ・大丸 大花火大会



この祭りは、先ずは住民がひとつになるきっかけを作ろうとするものです。
将来は左右の6つの取組につなげて、福祉の充実を図りましょう。

育む

青少年を育むために

⑬年間を通じた健全育成活動

・地域の自然や施設を活かした年間を通じた育成活動の継続

⑭大丸学舎の具体化

・学舎の精神を活かして、全ての人が学び続ける機会を整える

⑮子育て支援策

・乳幼児の親子が交流し、成長を喜び合うしくみを創る

⑯自然を守り自然に学ぶ

・大丸の自然がいつでも活用できるように、常に整える

だれが始める
何から始める

子ども達の
顔を知り
名前を知ることから

朝のあいさつ運動や
行事をきっかけに
子ども達に
声をかけていこう



働く・稼ぐ

持続可能な社会のために

⑰自然を活かした取組を企画する

・タケノコ掘り ・ホタルの育つ里づくり
・ドングリの育つ里づくり
・そば栽培から収穫・加工・販売 ・カブトムシの育つ里づくり

⑱新たな働き方(集落営農)

・耕作放棄地を活用した集落営農のしくみをつくる
・小さな稼ぎの場づくり

⑲積極的な情報発信

・ホームページやSNSを活用した情報発信
・地元出身者との積極的な関係づくり

チャンスを見つけ
できることから
具体的に
実行しよう
稼げるチーム
『コゼニーズ』
が動き出せば
自然と人々が
集まってくるはず



暮らす

支えを必要とする人々のために

⑳支え合い(愛)隊のしくみ

・支援を必要とする人々のための支え合い活動のしくみ作り
(有償ボランティア)

㉑福祉行政との連携

・福祉課や社会福祉協議会等の事業活用

㉒在宅医療(介護)のしくみ

・全世代型包括支援のしくみづくり

㉓空き家対策

・空き家になる前の資産活用のための学習



一人暮らし家庭が
増えてくる
困り事もきっと
増えてくる
まずは地区内で
助け合う心を
育てよう
住民が動けば
行政も動くはず



「はなまるたん」は大丸のマスコットです。よろしく！
この「大丸地区未来づくり10年計画」には、アンケートによる住民の皆さんから多くの声が寄せられています。
ここにその一部を紹介します。これからみんなで大丸地区を盛り上げていきましょう。

住民アンケートで賛同者が多かった項目

- 第1位：日々の見守り活動（互いの声掛け）
- 第2位：ファイナルの大丸花火大会
- 第3位：住民で行うスポーツイベント
- 第3位：移動手段の確保（送迎のしくみ）



【自由記述より】

住民の心をひとつに

できるひとが
できることを

とりあえず
やってみよう

一部の人に
負担がかからない
しくみづくりを

参加して楽しいものを

出身者への
呼びかけを

企画や運営を
楽しもう！

少しずつ広げていけばいい

学校施設の有効活用を

大丸未来づくり委員会委員

日置健作・森田清博・野村直樹
桐木平智佳・橋口 隆・森田隆志
田代健一・芦原奈美子・福元秀一
本坊政文・桐木平祐二・桐木平順一
福田利郎・横坂健一・森田博之
桐木平渉・酒瀬川保・日置進吾
上久保嘉奈・中原直美・桐木平怜華
21名

大丸地区未来づくり10年計画

編集 大丸未来づくり委員会
協力 南九州市まちづくり推進課

発行 大丸地区公民館（2023年2月）
〒897-0131 南九州市川辺町上山田7607番地
Tel/fax 0993-57-3160